



学校だより

伸びゆく子

令和6年2月29日
横浜市立中沢小学校
3月号

夢や希望をもって

学校長 川又 美貴子

「一月往ぬる、二月は逃げる、三月は去る」と言われるように、ついこの間新しい年を迎えたと思ったら、6年生が登校するのはあと13日、5年生以下も16日となりました。

先日は、3日間にわたり、各学年の授業参観、懇談会にご参加いただきありがとうございました。どの学年、クラスもこの1年の成長の様子や日頃の頑張りを見ていただけたのではないかと思います。私も、連日見て回りましたが、授業参観の時の子どもたちの様子にはとても感激しました。いつもより少しだけ背筋がピンと伸び、友達や先生の声漏らさず聞き取ろうと集中し、でも「楽しく頑張ってるよ」と言わんばかりの素敵な笑顔であふれていたからです。やはり「見てもらう」ことは、成長するための貴重な機会なのだな、とこういう時に改めて感じます。何気ない、いつもの授業姿だったかもしれませんが、「頑張ってたね。」「よく考えてたね。」と、当たり前を、ぜひご家庭ではたくさんほめてあげてください。当たり前のことを当たり前に行うこと、それこそがとても大切な積み重ねで、価値のあることなのだと思います。

令和5年度もいよいよ3月を残すばかりとなりました。今年度も保護者や地域の皆様に支えられ、子どもたちが生き生きと、安心して学校生活を送ることができました。本校の教育活動にご理解、ご協力いただき本当にありがとうございました。今年度残りの一日一日を、一人ひとりが自分らしく輝き、周りの人のよさや思いとひびき合いながら、夢や希望をもって進級、進学を迎えられるよう、教職員一同、力を尽くして参ります。

学援隊の皆さんに ありがとうを伝える会

2月27日(火)の音楽朝会に合わせて、日頃から登校を見守っていただいている学援隊の皆さんを招待して、お礼の気持ちを「tomorrow」の歌にのせてプレゼントしました。一年中、登校時に立っていただくことは体力的にも、気持ちの上でもとても大変なことです。子どもたちは、ちょこっと支援委員会の児童のリードの下、しっかりお礼の気持ちを伝えることができました。今年も一年間、本当にありがとうございました。

